

授業科目	解剖学				単位	2		
履 修	選択	関連資格	養教一種免		ナンバリング	WE21505J		
開講年次	2年	開講時期	前期	該当DP	DP1-1			
担当教員	菊田 彰夫							
授業概要	人間は、環境との相互作用の中で、体内外の物質の交換と体内での代謝により生命活動を営んでいる存在である。解剖学は人体の構造と機能について身体的側面から理解を深めることを目標としている。授業全体を通して、1) 人体の形態と構造、2) 人体の正常な生体機能、3) 人のからだができる仕組みについて解説する。							
学生が達成すべき行動目標	<p>学生が達成すべき行動目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 人体の基本構造を説明できる。 2. 細胞・組織・器官・器官系について説明できる。 3. 骨格系と筋系について主要なものを列挙し説明できる。 4. 循環系の血液・心臓・血管・リンパ・リンパ管について説明できる。 5. 消化器系の構造と摂食・消化および栄養素の吸収の仕組みについて説明できる。 6. 呼吸器系の構造と呼吸の仕組みについて説明できる。 7. 泌尿器系の構造と機能について説明できる。 8. 生殖器系の構造と機能について説明できる。 9. 感覚器系の構造と機能について説明できる。 10. 神経系の構造と機能について説明できる。 11. 内分泌系の構成とホルモンによる液性制御について説明できる。 12. 皮膚、粘膜、および免疫器の基本構造を説明できる。 13. 発生と加齢・老化について説明できる。 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	85	15	0	0	0	0	100	
知識・理解 (DP1-1)	85	15	0	0	0	0	100	
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度 (DP4-1)								
態度 (DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				

人体解剖学の知識を養護の学習の基礎とし、養護の実践に応用することができる。		人体解剖学の基礎的な知識を身に付け、養護の学習を進めることができる。		
授業計画				
進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	人体の構成:人体の構成について、構成する生体高分子、構成の階層性、歴史性;体の区分、方向用語	講義	復習:該当部分の復習	60
2	細胞・組織・器官・器官系:生命現象の基本単位である細胞の構造、細胞が構成する4種の組織、そしきにより構成される器官と器官系	講義	復習:該当部分の復習	60
3	骨格と筋1:体幹の支持と運動を行う骨格と筋;脊柱、胸郭の構造と胸腹部の筋、背部の筋と運動;頭蓋と頭部の筋と顎関節の構造と運動	講義	復習:該当部分の復習	60
4	骨格と筋2:体肢の骨格と筋;上肢の骨格と上肢の運動;肩関節、肘関節の構造と運動下肢の運動;股関節、膝関節の構造と運動	講義	復習:該当部分の復習	60
5	神経系総論・末梢神経系:ニューロン、神経線維、神経;末梢神経系の構成;脳神経と脊髄神経、自律神経系	講義	復習:該当部分の復習	60
6	循環器系:血液・心臓・血管系;動脈、静脈、毛細血管;大動脈、上、下大静脈;リンパ管、リンパ節	講義	復習:該当部分の復習	60
7	呼吸器系:呼吸器系を構成する鼻・鼻腔・咽頭・喉頭・気管・気管支・肺の構造と機能	講義	復習:該当部分の復習	60
8	消化器系1:栄養の消化と吸収を行う消化器のうち口腔(歯、舌)・咽頭・食道・胃の構造と機能	講義	復習:該当部分の復習	60
9	消化器系2:栄養の消化と吸収を行う消化器のうち小腸・大腸・肝臓・膵臓・胆嚢の構造と機能	講義	復習:該当部分の復習	60
10	泌尿器系・生殖器系:老廃物の排泄を行う泌尿器系(腎臓・尿管・膀胱・尿道)および男性生殖器と女性生殖器の構造と機能	講義	復習:該当部分の復習	60
11	生殖・人体発生・性分化:生殖に関与する細胞および受精、胚発生、胎児発生および性分化	講義	復習:該当部分の復習	60
12	内分泌器:ホルモンの内分泌と液性調節;視床下部・下垂体・甲状腺・副甲状腺・膵島・副腎・生殖器(生殖腺)	講義	復習:該当部分の復習	60
13	感覚器と生体防御系:眼・耳・鼻・皮膚;粘膜・免疫器	講義	復習:該当部分の復習	60
14	神経系2・中枢神経系1:脊髄・延髄・橋・中脳の構造と機能	講義	復習:該当部分の復習	60
15	神経系3・中枢神経系2:間脳・終脳の構造と機能;脳室・髄膜の構造;運動制御系・辺縁系の構成	講義	復習:該当部分の復習	60
16				
17				
18				

19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	解剖学は医学の基礎である人体の形態と構造をその機能と併せて学びます。学習内容は難易度も高く、修得すべき知識量も多いので必ず復習をして、理解を深めるよう自分自身で大いに努力してください。			
テキスト	教科書：「やさしい解剖学」(医歯薬出版) 必要に応じて、プリントを配布します。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	参考資料：Big Picture 解剖学(丸善出版) 解剖学講義要項			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	講義範囲を講義後、教科書と参考資料で復習して下さい。図書館の図書や視聴覚教材を活用することも効果的です。			
達成度評価に関するコメント	試験の内容については授業のなかで説明します。			